

2021年度 東北学院大学 日本史 解答速報(2月1日実施分)
 全学部型(文・経済・法・教養学部の全学科・全コース)

解 答

1 問1 (1) -オ (2) -シ (3) -ハ (4) -ヌ (5) -ケ (6) -テ
 (7) -タ (8) -ス (9) -ソ (10) -ツ

問2 ウ

問3 イ

問4 エ

問5 エ

問6 イ

2 問1 (1) -コ (2) -ス (3) -ウ (4) -タ (5) -ツ (6) -カ
 (7) -エ (8) -ク (9) -サ (10) -ア

問2 イ

問3 イ

問4 ア

問5 エ

問6 オ

問7 オ

問8 イ

問9 イ

問10 ウ

問11 ア

3 問1 (1) -ト (2) -テ (3) -ソ (4) -カ (5) -チ (6) -イ
 (7) -タ (8) -ツ (9) -キ (10) -サ (11) -シ
 (12) -ク

問2 ウ、エ

問3 イ

講 評

【解説】

3問2について選択肢アは、「近代日本の貿易業はインド綿花が支える」という知識から、明らかな誤文。エは、「作者と作品の組み合わせが正しい」ので、明らかな正文。イは、「工場労働者は、男性が過半数」が誤り。ある教科書には「労働者は、大部分が女性であり」と確かに書いてある。ただし、繊維産業部門となっている。欄外に細かな数字とセットで記述されているが、ここまで見れる受験生は少ないかもしれない。オは、「交代制も設けられていなかった」が誤り。渋沢栄一が設立した、「大阪紡績会社の工場では昼夜二交代制で機械をフル稼働」と教科書の欄外に記述されている。イと同じく、ここまで見れる受験生は少数ではないだろうか。よって、消去法でウが正しい。

【来年の受験を考えている方へ】

必ず、答えだけで満足せず用語集で「教科書での頻度」を確認すること。日本史の初学者やあまり得意ではない学生には最適である。東北学院大学の問題は、「教科書頻度の高い用語」の出題が多い。だが、「なんとなく覚えるだけ」という姿勢は日本史をつまらなくさせ点に結びつかない。覚えるときは、「理由や原因、目的など」をセットで覚える、「似ている言葉を対比」しながら覚える、「日本史用語の周辺」を注意して覚えることが力のつく学習法である。